

科目名	家計の経済学				
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照			
開講期	春学期	開講学部等	経済学部	配当年次	3年次
教員名	梶谷 真也	単位数	2単位		

授業概要／Course outline

『家計の経済学』では、主にミクロ経済学の考え方をを用いて、家計（家族）内での個人の意思決定がどのような理由で変わるのかについて、その変化のメカニズムを経済学的に解釈していきます。具体的には、(1) 進学・就職・結婚・出産・介護・引退などのライフイベントに関連する統計データから家計の状況を把握し、(2) それらの状況に至るメカニズムについて経済学的に解釈する方法を学びます。加えて、最近の研究成果から得られた知見についても紹介します。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 授業1回分のオンデマンド授業を実施します。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 イン트로ダクション：家計の経済学とは？

授業計画の詳細について説明します。

第2回 大学進学の意味決定(1)：教育投資モデル

教育投資モデルについて、レジュメをもとに説明します。

第3回 大学進学の意味決定(2)：教育年数と教育の限界収益率

教育の限界収益率について、レジュメをもとに説明します。

第4回 大学進学の意味決定(3)：ミンサー型賃金関数

ミンサー型賃金関数の考え方について、レジュメをもとに説明します。

第5回 働き方の意思決定(1)：就職活動と雇用のミスマッチ

企業と労働者のミスマッチについて、レジュメをもとに説明します。

第6回 結婚の意思決定：家計生産モデル

家計生産モデルを用いた結婚の意思決定について、レジュメをもとに説明します。

第7回 子育ての意思決定(1)：家計生産モデルの応用

家計生産モデルを用いて出産の意思決定について、レジュメをもとに説明します。

第8回 子育ての意思決定(2)：子育て支援政策の効果

出産の意思決定に関する比較静学分析について、レジュメをもとに説明します。

第9回 働き方の意思決定(2)：キャリアと転職

労働市場の流動化の状況について、レジュメをもとに説明します。

第10回 介護の意思決定：介護の社会化と女性就労

家計生産モデルを用いて介護と就業の意思決定について、レジュメをもとに説明します。

第11回 引退の意思決定(1)：定年退職制度と労働市場からの引退

労働供給モデルを用いて高齢期の就業決定について、レジュメをもとに説明します。

第12回 引退の意思決定(2)：公的年金の仕組み

公的年金制度について、レジュメをもとに説明します。

第13回 消費と貯蓄の意思決定(1)：日本の家計貯蓄

日本の家計貯蓄の状況について、レジュメをもとに説明します。

★オンデマンド 消費と貯蓄の意思決定(2)：ライフサイクル仮説(7月8日から7月14日までの間、90分)

ライフサイクル仮説について、レジュメをもとに説明します。

第14回 これまでの振り返り・Q&A

※授業の進捗度合いに応じて、内容等を若干変更する場合があります。その場合は事前に連絡します。

※オンデマンドでの授業は、第13回と第14回の間で受講してください（配信日は7月8日）。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※各回の事前・事後学修は合計4時間を目安とします。

第1回 イン트로ダクション：家計の経済学とは？

[事前学修] シラバスを読む。

[事後学修] レジューメの内容を復習する。

第2回 大学進学の意味決定(1)：教育投資モデル

[事前学修] レジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、教育投資モデルについて復習する。

第3回 大学進学の意味決定(2)：教育年数と教育の限界収益率

[事前学修] レジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、教育の限界収益率について復習する。

第4回 大学進学の意味決定(3)：ミンサー型賃金関数

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、ミンサー型賃金関数について復習する。

第5回 働き方の意思決定(1)：就職活動と雇用のミスマッチ

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、雇用のミスマッチについて復習する。

第6回 結婚の意思決定：家計生産モデル

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、結婚の意思決定について復習する。

第7回 子育ての意思決定(1)：家計生産モデルの応用

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、子育ての意思決定について復習する。

第8回 子育ての意思決定(2)：子育て支援政策の効果

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、子育て支援政策の効果について復習する。

第9回 働き方の意思決定(2)：キャリアと転職

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、労働市場の流動化の状況について復習する。

第10回 介護の意思決定：介護の社会化と女性就労

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、介護保険制度について復習する。

第11回 引退の意思決定(1)：定年退職制度と労働市場からの引退

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、定年退職制度について復習する。

第12回 引退の意思決定(2)：公的年金の仕組み

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、公的年金制度について復習する。

第13回 消費と貯蓄の意思決定(1)：日本の家計貯蓄

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、日本の家計貯蓄の状況について復習する。

★オンデマンド 消費と貯蓄の意思決定(2)：ライフサイクル仮説

[事前学修] 授業で使うレジューメの内容を事前に確認する。(Moodleで提供)

[事後学修] レジューメを見ながら、ライフサイクル仮説について復習する。

第14回 これまでの振り返り・Q&A

[事前学修] これまでのレジューメの内容を整理する。

[事後学修] 解説の内容を復習する。

授業の到達目標/Expected outcome

【経済学的思考方法】に基づいてさまざまな統計データを用いながら家計(家族)内で直面する個人の意思決定が変化するメカニズムを考えることにより、【社会を論理的かつ多様な視点から見る】ことができるようになる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|---------|-------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 幅広い教養 | 【経済学部 経済学科】 |
| ・ 主体性 | ・ 政策分析能力 |
| ・ 倫理性 | ・ 応用理論 |
| ・ 創造性 | |

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・ 毎回レジューメを使って授業をします。レジューメは授業開始までにMoodleにアクセスしたうえで、ダウンロード・プリントアウトして、事前学修に努めてください。
- ・ 授業中に他の学生に迷惑をかけるような行動を取る学生には、注意をした上で退室を求めます。

- ・理解度を確認するため、授業の最初に小テストを行います。
- ・労働経済学で学ぶ理論モデルを紹介しながら授業を展開しますので、『労働経済学A・B』を履修中あるいは履修済みであることを前提に授業を進めます。この前提が満たされていない学生の履修は推奨しません。

評価方法/Evaluation

- ・定期試験（70%）と小テスト（30%）で評価します。
- ・小テストはムードルで行います。フィードバックなどは小テスト終了後にムードル上で行います。

教 材/Text and materials

参考書等：

- ・厚生労働省編『厚生労働白書』日経印刷（厚生労働省のホームページで閲覧・ダウンロード可能）
- ・阿部正浩（2021）『基本講義 労働経済学』新世社
- ・川口大司（2017）『労働経済学』有斐閣
- ・駒村康平・山田篤裕・四方理人・田中聡一郎・丸山桂（2015）『社会政策』有斐閣
- ・濱秋純哉（2025）『経済政策』新世社

質問や相談の方法/Instructor contact

- ・授業に関する質問などがある場合は、授業終了後あるいはメールで対応します。
- ・メールアドレスはムードルに記載しています。